

# 久美浜学園保幼小中一貫教育だより

## くみはまこういゅうかぶと山



久美浜学園保幼小中一貫教育

久美浜学園ホームページ：各学園所の様子を掲載  
「久美浜学園保幼小中一貫教育」で検索、スマホでも閲覧可能

久美浜学園事務局R6.3.1.No.13  
(☎82-0079(久美浜中内))

## 第3回学校運営協議会2/20開催

第3回協議会を開催しました。今回はグループ協議ではなく全体協議をし、各地域や団体の取組を共有したり、学園の保育、教育について意見を出し合いました。

(協議会長あいさつ) 学校運営協議会が一つのコミュニティとして、学校と地域を結び付け、普段の何気ない活動で学園所を応援し、関係づくりと連携を維持している。本日の全体協議のねらいは2つ。①全員で意見を交流し他の部会の取組などを幅広く理解すること。②改めて学園の基本的な方針や今取り組まれている新しい指導について話を聞き、理解を深め、日常の応援活動に活かしていくこと。

(学園長あいさつ) 令和5年度も終えようとしている。この間、地域と学園所をつなぐ橋渡しとして協議会にはお世話になり心強い存在だった。今年度、子どもたちはいろいろな活躍をした。それ以上に来年度、活気ある学園にしたい。そういう観点で来年度を見据えた話し合いをお願いしたい。

### 全体協議

### 1年間の学園の取組や地域の取組の共有

#### 【見守り活動】

- 年3回の一斉あいさつ運動は、ほとんどの委員が参加した。小学校へ行き、常務会は中学校へ行き、学校が終わってから地域ごとに園所に行った。園児や保護者と一緒になって、元気な子どものよい雰囲気の中、気持ちよいあいさつ運動ができた。
- 自治会で、小学校の登下校の見守りをしている。安心・安全な地区になるよう高齢者への訪問も含めて取組をしている。子どもたちとのつながりもできた。高齢化が進み、次につなげていくのに苦労している。下校の見守りが手薄になっているので、次年度はそこに手を入れていきたい。
- 月に2回「にこカー」に乗っている。下校時学校に行くと児童クラブの子が1人ずつあいさつをしてくれる。ほんとにあいさつがよくできるようになった。大雪の時が怖くて、車はよけてくれるが、何か対策をして、もう少し歩きやすくしてほしい。30年近くやってきたが、ぼちぼちぬける人が多くなり、補充ができない。子どもも少なくなり孫がいらないことや仕事を退職されても勤められる人が多く、見守り隊になかなか入ってもらえない。

#### 【地域活動】

- 地域コミュニティの関係で公民館の組織体制が変わる。2/3日に川上、海部、佐野の公民館で合同のスキー教室が実施できた。小学生27名が参加し、指導スタッフも地域でお世話になった。今年は、各地区運動会もでき、子どもたちもたくさん参加し楽しんだ。地区ごとの行事も多く実施され、子どもたちも活躍している。
- 「二区子ども広場」では、スタッフが7人から9人に増えた。6月から月1回実施した。おもしろいところでは、甲坂が招いている大学生たちと遊ぼうということをやった。先月の工作づくりは、小学生だけでなく保護者や園児も参加した。地域の方から絵本の読み聞かせをさせてもらえないかという申し入れがあった。3月に計画する予定。
- 高龍小「土曜遊び教室」は、コロナで4年間実施できていない。PTAが母体なので、来年度のPTA総会で計画書を出し活動を再開していく。公共施設を使うのに、申請書が毎回必要なので事務が大変。簡略化できないか。
- コロナの規制緩和で地域の活動ができるようになってきた。運動会もできたし、子どもたちが地域で活躍している。中学校吹奏楽部やこども園には、イベントに参加してもらい盛り上げてもらった。子育て喫茶をおやつや軽食を出してやっている。地域で子育てを頑張っているところというのはたくさんある。今後も力を入れていきたい。



委員の皆様、1年間ありがとうございました。



○（学園の取組動画視聴）目指すところは子どもたちの自立。自分の言葉で話す高校生、中学生が自分たちでスライドを作り原稿を作り発表する。そういう姿を目指し、教員はものを言わず、ルールを敷かず、子どもに考えさせ、説明させ、運営させる。生徒指導も授業も、今、大きく変わろうとしている。

○久美浜の取組は、宇宙的に広がっていて、理解しついていくのがなかなか難しい。

○子どもたちの生き生きした姿を見た。また、その裏には先生方の計り知れない保育・教育へのエネルギーがある。

○中学校からのパスを受け答えてくれる高校生がいた。生徒たちに任せてみるとおもしろいことが起きる。おそらく小さい頃から任せられ力をつけてきたのだろう。昔ながらの「こうしなさい」で育った子ではない。久美浜では「自分たちから」でやってきた子が育っている。保小中連携があって高校とも連携しやすくなった。

○中3生はすごい。自分たちで物事を作っている。高校生と一緒に同窓会での1時間半の内容を作った。こんなことはなかなかできることではない。今の中学校は十数年前と全く違う。協議会も10年が過ぎる。新たな層を入れどういう形でやっていくか考えなくてはならない。学園も多彩なことがやられていて感心するが、地域や子ども、保護者が、何に苦しみ課題にしているかももう一度考え見直すことが必要。一貫教育も10年たちもう一度実態をとらえることが大事になると思う。

○3回協議会に参加して、一保護者としてとても心強い。子どもが小学校、中学校に行き、これだけの人に支えていただき成長させてもらえるということを実感した。私たちも主体的な姿を見せていかないといけないと1年間考えさせられた。園での発表会、子どもが主体的に考えた姿、やりたいことを形にしたメッセージに感動し涙した。今年度で終わるのではなく、次の保護者会にも今までと違うつながりを持っていきたい。

○協議会に参加し、昔、地域の人にかかわっていただいたことがよみがえった。久美浜はよさが残るところだと思いがすことが毎回あった。久美浜の環境として、保幼、小中高が地域にあって、いろいろなことを活用しながら子どもたちを育てていこう、学校だけでなく地域と一体となって進められていることが、子どもたちにとってすごく大きなことだと思う。久美浜へ来ると、子どももすごく自然にあいさつをしてくれる。こういう雰囲気の中で育てられているのだと思う。ほんとによい協議会でよい取組をされている。

## 小学校体験入学～4月になったら1年生

久美浜小

1年生の授業を参観しました。



鉛筆の持ち方から習います。



かぶと山小

1年生が横について、鉛筆の使い方を教えてくれました。



高龍小

鉛筆で線を書いてみます。



体育館でプレゼントをもらいました。



工作をして遊びました。



園所から5歳児がやってきました。1年生の授業参観や学校紹介を聞き、その後、1年生の先生の授業を受けました。1人1つの机といすになります。鉛筆を持って絵や字も書きます。いよいよ小学生です。

## こういゅう虹こども園の発表会、たくさんの保護者が参観しました。

元気いっぱいの太鼓の演奏



5歳創作劇「幸せを呼び込むハートタワー」



全員の歌「きみいろ」「虹」



1年間の保育の集大成の発表会、大成功でした。堂々とした発表で、サプライズあり、笑いあり、たくさんの保護者が感動し、我が子の成長に涙しておられました。